

## 2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 1 評価施策名 | 担当部課室 保健福祉部 子ども未来課              |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造            |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム                 |
| 施策名     | 【重点】社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援する気運の醸成 |

### 2 生き生き指標の進捗(達成)状況

| 指標名 | ◎合計特殊出生率                                    | 年度  | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----|---|-----|------|------|------|------|
|     |   | 目標値 | 1.57 | 1.59 | 1.61 | 1.63 |
| 現況値 | 1.54 (2015年)                                | 実績値 | 1.54 | 1.53 | 1.47 |      |
| 目標値 | 1.63  | 達成率 | ※-   | ※-   | ※-   |      |
| 備考  | 1人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当したもの | 達成度 | ※3   | ※2   | ※2   |      |

  

| 指標名 | ○妊娠・出産について満足している者の割合                  | 年度  | 2017   | 2018   | 2019   | 2020 |
|-----|---------------------------------------|-----|--------|--------|--------|------|
|     |                                       | 目標値 | 72.5   | 73.7   | 75.0   | 75.0 |
| 現況値 | 67.4% (2013年度)                        | 実績値 | 77.7   | 81.3   | 83.9   |      |
| 目標値 | 75.0%                                 | 達成率 | 107.2% | 110.3% | 111.9% |      |
| 備考  | 産後に助産師等から指導・ケアを十分に受けることができたと感じている者の割合 | 達成度 | 4      | 4      | 4      |      |

### 3 事務事業評価

| 保健福祉部<br>子ども未来課 | 事務事業名             | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|-----------------|-------------------|---|----------|
|                 | 「おかやま縁むすびネット」推進事業 | <p><b>実施目的</b><br/>結婚を希望する方へのアンケート結果として「適当な相手に出会わない」との回答が多いことから、多様な出会いの機会を提供する。</p> <p><b>成果・課題</b><br/>結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」について、県内3か所のサポートセンター（岡山、倉敷、津山）を拠点とし、安定的な運営に努めるとともに、様々な広報媒体で周知を図った結果、3月末現在で2,022名の方が登録し、新たに49組（累計89組）のカップルから結婚を決めたとの報告があった。今後も、県内各地での特設会場の開設、より使いやすいシステムへの改修などの利便性の向上と効果的な事業周知を図っていく必要がある。</p> | 4        |
| 保健福祉部<br>子ども未来課 | 事務事業名             | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|                 | 社会全体での子育て気運醸成事業   | <p><b>実施目的</b><br/>子育て家庭と子育て家庭を応援する企業・団体がつながる場の創出に向けたイベントを開催し、社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図る。</p> <p><b>成果・課題</b><br/>子育て家庭を応援するイベント「おかやま子育てマルシェ」を開催し、2日間で8,400名の参加者があった。ブース出展の協賛店舗から好評をいただくとともに、イオンモール岡山に入居する店舗のうち、9店から新たに協賛店舗として、協力を得られるといった成果があった。参加者の満足度も高かったが、就学前児童も多いことから、イベントの内容を幅広い年齢層の子どもが参加しやすいものにする工夫が引き続き必要である。</p>    | 4        |
| 平均              |                   |   | 4.0      |

### 4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 3.2 | 生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

## 5 施策推進による主な成果

おかやま縁むすびネットの登録者数、子育て家庭を応援するイベントの参加者数のいずれも目標を達成することができており、気運の醸成に向けて一定の効果があったと思われる。

## 6 今後の施策推進に向けての課題

結婚への気運醸成については、おかやま縁むすびネットのさらなる利便性の向上と効果的な事業周知を図っていく必要がある。妊娠・出産、子育てを応援する気運の醸成については、子育て家庭を応援するイベントの内容を幅広い年齢層の子どもが参加しやすいものにする工夫が引き続き必要である。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 1 評価施策名 | 担当部課室 保健福祉部 子ども未来課   |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造 |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム      |
| 施策名     | 【重点】結婚支援の推進          |

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

| 指標名 | ◎合計特殊出生率                                    | 年度  | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----|---|-----|------|------|------|------|
|     |   | 目標値 | 1.57 | 1.59 | 1.61 | 1.63 |
| 現況値 | 1.54 (2015年)                                | 実績値 | 1.54 | 1.53 | 1.47 |      |
| 目標値 | 1.63  | 達成率 | ※-   | ※-   | ※-   |      |
| 備考  | 1人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当したもの | 達成度 | ※3   | ※2   | ※2   |      |

  

| 指標名 | ○おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数         | 年度  | 2017  | 2018   | 2019   | 2020 |
|-----|-------------------------------------|-----|-------|--------|--------|------|
|     |                                     | 目標値 | 30    | 60     | 90     | 120  |
| 現況値 | —                                   | 実績値 | 14    | 82     | 178    |      |
| 目標値 | 120組 (4年間累計)                        | 達成率 | 46.7% | 136.7% | 197.8% |      |
| 備考  | おかやま出会い・結婚サポートセンターが行った支援をきっかけに成婚した数 | 達成度 | 1     | 5      | 5      |      |

3 事務事業評価

| 保健福祉部<br>子ども未来課 | 事務事業名             | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|-----------------|-------------------|---|----------|
|                 | 「おかやま縁むすびネット」推進事業 | <p><b>実施目的</b><br/>結婚を希望する方へのアンケート結果として「適当な相手に出会わない」との回答が多いことから、多様な出会いの機会を提供する。</p> <p><b>成果・課題</b><br/>結婚支援システム「おかやま縁むすびネット」について、県内3か所のサポートセンター（岡山、倉敷、津山）を拠点とし、安定的な運営に努めるとともに、様々な広報媒体で周知を図った結果、3月末現在で2,022名の方が登録し、新たに49組（累計89組）のカップルから結婚を決めたとの報告があった。今後も、県内各地での特設会場の開設、より使いやすいシステムへの改修などの利便性の向上と効果的な事業周知を図っていく必要がある。</p> | 4        |
| 保健福祉部<br>子ども未来課 | 結婚応援事業            | <p><b>実施目的</b><br/>未婚化、晩婚化に歯止めをかけるため、結婚を希望する方に多様な出会いの機会を提供する。</p> <p><b>成果・課題</b><br/>おかやまマラソンとのコラボイベント、広島県との合同企画イベントなど、5回の出会いイベントを開催し、計248名の参加があった。カップル成立の割合が比較的低かったものもあり、イベント内容の工夫が課題である。</p>   | 3        |
| 平均              |                   |   | 3.5      |

4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 3.5 | 生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

## 5 施策推進による主な成果

おかやま縁むすびネットの登録者数、出会いイベントでカップルが成立した割合のいずれも目標を上回り、出会いの機会の提供に繋がるとともに、結婚に対する前向きな意識の醸成に向けて一定の効果があったと思われる。おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数も96組（累計178組）となり増加傾向にある。

## 6 今後の施策推進に向けての課題

おかやま縁むすびネットについては、サポートセンターの安定的な運営に加え、今後も県内各地での特設会場の開設、より使いやすいシステムへの改修などの利便性の向上と効果的な事業周知を図っていく必要がある。出会いイベントについては、カップル成立の割合の増加に向け、引き続きイベントの内容を工夫していく必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                      |       |             |
|---------|----------------------|-------|-------------|
| 1 評価施策名 |                      | 担当部課室 | 保健福祉部 健康推進課 |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造 |       |             |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム      |       |             |
| 施策名     | 【重点】切れ目ない母子保健等の推進    |       |             |

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

| 指標名 | ◎合計特殊出生率                                    | 年度  | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----|---|-----|------|------|------|------|
|     |   | 目標値 | 1.57 | 1.59 | 1.61 | 1.63 |
| 現況値 | 1.54 (2015年)                                | 実績値 | 1.54 | 1.53 | 1.47 |      |
| 目標値 | 1.63  | 達成率 | ※-   | ※-   | ※-   |      |
| 備考  | 1人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当したもの | 達成度 | ※3   | ※2   | ※2   |      |

| 指標名 | ○妊娠と年齢の関係について正しく知っている者の割合 | 年度  | 2017 | 2018  | 2019  | 2020 |
|-----|---------------------------|-----|------|-------|-------|------|
|     |                           | 目標値 | 51.1 | 58.0  | 70.0  | 70.0 |
| 現況値 | 50.2% (2014年2月)           | 実績値 | 55.2 | 52.4  | 58.6  |      |
| 目標値 | 70.0%                     | 達成率 | 108% | 90.3% | 83.7% |      |
| 備考  | 20～34歳独身の男女を対象とした調査結果     | 達成度 | 4    | 3     | 3     |      |

3 事務事業評価

| 保健福祉部<br>健康推進課 | 事務事業名               | 事務事業の実施目的及び成果・課題  |   | 事務事業総合評価 |
|----------------|---------------------|---|---|----------|
|                | おかやま妊娠・出産サポートセンター事業 | <b>実施目的</b><br>結婚から妊娠、出産、育児に至るまでの切れ目ない支援の一環として、妊娠や出産をはじめとする女性の心と身体の悩みについての相談支援を実施する。<br><br><b>成果・課題</b><br>おかやま妊娠・出産サポートセンターの開設後、妊娠や出産をはじめとする様々な内容の相談に対応しており、延べ481件の相談があった。センターのさらなる知名度アップのため、引き続き広報活動を行っていく必要がある。 | 5 |          |

| 保健福祉部<br>健康推進課 | 事務事業名              | 事務事業の実施目的及び成果・課題   |   | 事務事業総合評価 |
|----------------|--------------------|--|---|----------|
|                | 未来のパパ&ママを育てる出前講座事業 | <b>実施目的</b><br>将来、親になろうとする中高生等の若い世代へ妊孕性をはじめ、妊娠、出産に関する正しい知識を得た上で自身のライフプラン設計を考え、豊かな人生を送ることができるよう未来のパパ&ママを育てる出前講座を開催する。<br><br><b>成果・課題</b><br>未来のパパ&ママを育てる出前講座を、全県下30校の中学校・高等学校で行い、延べ5073名が参加した。各校の教員の研修を継続的に行うとともに、派遣講師の研修を並行して行う必要がある。 | 5 |          |

| 保健福祉部<br>健康推進課 | 事務事業名   | 事務事業の実施目的及び成果・課題 |  | 事務事業総合評価 |
|----------------|---|------------------|--|----------|
|                | 母子健康包括支援センター体制強化事業  | 実施目的             | 全市町村において、妊娠中から子育て期までの切れ目のない支援を行う母子健康包括支援センターが設置でき、支援の機能強化が図れるよう関係者に対して、研修等を開催する。 | 4        |
| 成果・課題          | 研修会の開催や母子健康包括支援センターの設置に関する情報提供等により、新たに2市町が母子健康包括支援センターを設置した。今後は、未設置の町村について、研修会での先行事例の情報提供や保健所での相談等の設置に向けた支援を継続していく必要がある。また、妊娠期からのさらなる切れ目のない母子支援のため、引き続き研修等を行うとともに、産科、精神科、小児科との連携強化を図る必要がある。 |                  |  |          |

| 保健福祉部<br>健康推進課 | 事務事業名   | 事務事業の実施目的及び成果・課題 |   | 事務事業総合評価 |
|----------------|---|------------------|---|----------|
|                | 不妊治療対策事業費   | 実施目的             | 晩婚化・晩産化などの影響によって増加している、子どもを持つことを望みながら不妊に悩む方への精神的、経済的負担の軽減を図る。 | 4        |
| 成果・課題          | 保険適用外で医療費が高額な体外受精・顕微授精及びそれに伴う男性不妊治療費について、565件の助成を行い、不妊に悩む方への精神的・経済的負担の軽減が図られている。今後もニーズに応じた的確な事業実施に努める必要がある。 |                  |   |          |

|    |     |
|----|-----|
| 平均 | 4.5 |
|----|-----|

#### 4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 2.9 | 生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

#### 5 施策推進による主な成果

全市町村において無料で産婦健康診査を受けられる体制が整った。妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築に向け、産科・精神科・小児科医療機関関係者や市町村保健師等を対象に研修会を実施するとともに、産後うつ病についての正しい知識の普及啓発のため、リーフレットを作成し、新聞紙面で広報を行った。また、中高校生への妊娠や出産の正しい知識の普及啓発も実施し、若い世代が妊娠・出産を視野に入れたライフプランを考えることができる機会を提供することができた。

#### 6 今後の施策推進に向けての課題

県内で切れ目のない母子支援が行えるような体制整備を目指して、全市町村に子育て世代包括支援センターが設置されるよう引き続き市町村支援を行っていくとともに、産科、精神科、小児科及び市町村の連携強化を図る必要がある。また、県民からの相談にきめ細かく対応する必要があることから、妊娠・出産サポートセンターなど県が設置する相談機関の周知を積極的に行う必要がある。

## 2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |   |
|---------|---|
| 1 評価施策名 | 担当部課室 県民生活部 男女共同参画青少年課                    |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造                      |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム                           |
| 施策名     | 【推進】若い世代における仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等の意識の醸成 |

### 2 生き生き指標の進捗(達成)状況

### 3 事務事業評価

| 県民生活部<br>男女共同参画青少年課 | 事務事業名                   | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|---------------------|-------------------------|---|----------|
|                     | 「学生と企業のマッチングシンポジウム」開催事業 | <p><b>実施目的</b><br/>若い世代から男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについての意識醸成を図ることで、男女共同参画社会の実現につなげる。</p> <p><b>成果・課題</b><br/>様々な広報手段を活用した周知や関係機関等への直接訪問による応募への働きかけなどによりエール論文の応募数は過去最高となった。シンポジウムの参加者は前年度を下回ったものの、参加者から良好な評価をいただくなど好評だった。引き続き、応募数・参加者数の増加につながるよう魅力的な企画や効果的な情報発信に努め、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの意識醸成につながる事業にする必要がある。</p> | 4        |

|    |     |
|----|-----|
| 平均 | 4.0 |
|----|-----|

### 4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 4.0 | 生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

### 5 施策推進による主な成果

大学、経済界と連携して実施したエール論文の応募数は過去最多であった。家庭と企業の双方の視点から男女共同参画や働きやすい職場環境について考えるシンポジウムの参加者は前年度を下回ったものの、参加者からの評価は高く好評であり、男女共同参画に対する意識の醸成につながっている。

### 6 今後の施策推進に向けての課題

高校生や大学生などの若い世代に対して、男女共同参画やワークライフバランスについての意識醸成を図るため、啓発事業をさらに積極的に進める必要がある。

## 2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                                 |               |
|---------|---------------------------------|---------------|
| 1 評価施策名 | 担当部課室                           | 産業労働部 労働雇用政策課 |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造            |               |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム                 |               |
| 施策名     | 【推進】安心して結婚、妊娠・出産、子育てができる「しごと」応援 |               |

### 2 生き生き指標の進捗(達成)状況

### 3 事務事業評価

| 産業労働部<br>労働雇用政策課 | 事務事業名            | 事務事業の実施目的及び成果・課題  |   | 事務事業総合評価 |
|------------------|------------------|---|---|----------|
|                  | 若者の職場定着推進事業      | <b>実施目的</b><br>本県では、大学卒業者の就職後3年以内の離職率が全国平均を上回る状況となっており、職場定着率向上に向けた取組により、離職率の引下げを図る。<br><br><b>成果・課題</b><br>経営者・人事担当者や入社後3年以内の若手社員等を対象とした離職防止セミナーを開催したところ、多くの参加があった一方で、定員に満たない回もあったことから、企業への参加の呼びかけ及び内容の充実が必要である。                  | 3 |          |
| 産業労働部<br>労働雇用政策課 | 事務事業名            | 事務事業の実施目的及び成果・課題  |   | 事務事業総合評価 |
|                  | 新規学卒者合同就職面接会開催事業 | <b>実施目的</b><br>新規学卒者の県内就職を促進するとともに、就職未決定のまま卒業した者の就職支援のため、卒業後3年以内の者も対象とした企業とのマッチングを促進する。<br><br><b>成果・課題</b><br>事業での採用決定数は減少したが、新たに会場までのバスの運行を取り入れるなどした結果、昨年度と比べ参加学生数を増加させることができた。引き続き国等と連携しながら開催時期、内容等の工夫を行い、参加者、採用決定数が増えるよう取り組む。 | 3 |          |
| 平均               |                  |   |   | 3.0      |

### 4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 3.0 | 生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを<br>4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

### 5 施策推進による主な成果

労働局等関係機関と連携した合同就職面接会の開催や、インターンシップの推進などを通じて、県内企業の魅力をPRし、若者の県内就職と定着を支援することができた。また、離職防止セミナーの開催などにより、大学卒業生の3年以内の離職率は横ばいとなっている。

## 6 今後の施策推進に向けての課題

若者の県内就職を促進するため、引き続き、関係機関と連携しながら、合同就職面接会の開催や、インターンシップの推進などを通じて、県内企業の魅力を若者が知る機会をさらに積極的に提供する必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 1 評価施策名 | 担当部課室 保健福祉部 子ども未来課   |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造 |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム      |
| 施策名     | 【推進】多子世帯への支援         |

2 生き活き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

|                 | 事務事業名         | 事務事業の実施目的及び成果・課題   | 事務事業総合評価 |
|-----------------|---------------|--|----------|
| 保健福祉部<br>子ども未来課 | 第3子以降保育料無償化事業 | 実施目的<br>3人以上の子を持つ多子世帯に対し、子育てに係る経済的な負担感の解消を図る。  | 3        |
|                 |               | 成果・課題<br>対象となる児童を持つ家庭に対して保育料の無償化又は軽減(児童数2,903人:実数)を行うことにより、経済的負担を軽減した。今後も市町村と連携して、制度の県民への周知を図り、少子化対策につなげる。 |          |

|    |     |
|----|-----|
| 平均 | 3.0 |
|----|-----|

4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 3.0 | 生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

5 施策推進による主な成果

3人以上の子を持つ多子世帯に対し、子育てに係る経済的な負担感の解消に努めた。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後も市町村と連携して、国の幼児教育・保育の無償化の制度と併せて県民への周知を図り、少子化対策につなげる必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 1 評価施策名 | 担当部課室 保健福祉部 医療推進課    |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造 |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム      |
| 施策名     | 【推進】周産期医療の充実         |

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

| 保健福祉部<br>健康推進課 | 事務事業名            | 事務事業の実施目的及び成果・課題   |   | 事務事業総合評価 |
|----------------|------------------|--|---|----------|
|                | 先天性代謝異常等<br>検査事業 | 実施目的<br>先天性の代謝異常等を持って生まれた新生児の早期発見、早期治療を図るため、マス・スクリーニング検査を実施する。この結果、精密検査が必要とされた新生児に受診勧奨を行い、その受診率は100%になり、早期発見、治療につながった。 | 成果・課題<br>岡山県内(岡山市を除く)で出生した新生児8,597名に対して、マス・スクリーニング検査を実施した。  | 5        |
| 保健福祉部<br>医療推進課 | 事務事業名            | 事務事業の実施目的及び成果・課題   |   | 事務事業総合評価 |
|                | 周産期医療対策推進事業      | 実施目的<br>24時間救急対応の周産期母子医療センターを中心とした産科医療機関の役割分担と連携強化を図るとともに、周産期医療関係者の資質の向上を進め、安全に妊娠・出産できる環境作りを推進する。                      | 成果・課題<br>周産期母子医療センターの医師等の資質向上のための研修や、周産期死亡事例を検証した結果の普及など、周産期死亡の減少に向けた取組を行った。今後とも、安全に妊娠・出産できる環境づくりを進めるため、周産期母子医療センターとの地域の産科医院、診療所及び助産所等との役割分担と連携強化を推進する取組を行う必要がある。 | 5        |
| 平均             |                  |  |   | 5.0      |

4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 5.0 | 生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

5 施策推進による主な成果

|  |
|--|
| <p>周産期母子医療センターの医師確保等の資質向上のための研修会や周産期死亡の減少に向けた取組を行い、新生児死亡率の低減を図ることができた。<br/>また、県内で出生した新生児に対してマス・スクリーニング検査を実施した。</p> |
|--|

## 6 今後の施策推進に向けての課題

新生児死亡率の増加要因について、有識者による検証を行っていくとともに、周産期母子医療センターと地域の産科病院・診療所、助産所などの役割分担と連携体制の構築を図り、周産期医療に係る人材育成を推進し、安全に妊娠・出産できる環境づくりを推進する。

また、先天性代謝異常等を持って生まれた新生児の早期発見、早期治療を図るため、検査項目の追加を行い、マス・スクリーニング検査を実施する必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

|         |                        |                  |
|---------|------------------------|------------------|
| 1 評価施策名 | 担当部課室                  | 県民生活部 男女共同参画青少年課 |
| 重点戦略    | Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造   |                  |
| 戦略プログラム | 結婚・妊娠・出産応援プログラム        |                  |
| 施策名     | 【推進】出産・子育て後の女性の再就職等の支援 |                  |

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

|                     | 事務事業名          | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|---------------------|----------------|---|----------|
| 県民生活部<br>男女共同参画青少年課 | 働く女性トータルアシスト事業 | 実施目的<br>ライフイベントに区切りがついた時点で、働くことを考え始めた女性に対するセミナーや、在宅ワーク向け技能研修等を実施し、円滑な就業の促進と、就労の幅の拡大を図る。あわせてキャリア形成に向けた企業研修を行い、働きたい女性・働く女性をトータルに支援する。   | 4        |
|                     |                | 成果・課題<br>就業への動機付けを図るセミナー及び在宅ワーク向け技能研修については概ね計画どおりの実施となったが、キャリアアップ支援研修については受講者が定員を大きく下回った。参加者一人一人の満足度は高かったため、より参加しやすい形となるよう、見直しが必要である。 |          |

|                  | 事務事業名     | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|------------------|-----------|---|----------|
| 産業労働部<br>労働雇用政策課 | 再就職促進訓練事業 | 実施目的<br>フレキシブルに新たなスキルを学べる職業訓練の受講を奨励することで、結婚や出産等で離職した女性の円滑な再就職を支援する。   | 4        |
|                  |           | 成果・課題<br>委託訓練について、3～6か月の短期訓練として、パソコンワーク科や経理事務科、医科医療事務科等49コース、1～2年間の長期訓練として、介護福祉士養成科や保育士養成科、栄養士養成科、精神保健福祉士養成科、調理師養成科を13コース、計62コースを実施した。今後とも、より多くの女性のニーズに応じられるよう、魅力ある委託訓練の実施に取り組む必要がある。 |          |

|                  | 事務事業名    | 事務事業の実施目的及び成果・課題  | 事務事業総合評価 |
|------------------|----------|---|----------|
| 産業労働部<br>労働雇用政策課 | 女性就職応援事業 | 実施目的<br>子育て世代をはじめとする女性の就職を積極的に支援することにより、女性の社会的活躍の機会を増加させ、本県の労働力の確保及び人材の有効活用を図る。   | 4        |
|                  |          | 成果・課題<br>開催市町の協力を得ることができ、昨年度を上回ることはできなかったものの、一昨年度と同程度の参加者数、採用決定者数となった。参加企業や開催地域等について、参加者アンケートや事前調査を踏まえ、より参加者のニーズに沿った事業とする必要がある。 |          |

|    |     |
|----|-----|
| 平均 | 4.0 |
|----|-----|

4 施策達成レベル

|     |  |
|-----|--|
| 4.0 | 生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出 |
|-----|--|

## 5 施策推進による主な成果

再就職を希望しながら、時間的な制約により就労に踏み出せない女性の再チャレンジに向け、セミナーや資格取得支援などによって充実した支援を行うことができた。  
子育て中の女性が気軽に利用できる環境で就職相談会を実施することで、働く希望のある女性のニーズに応じた就業促進を図ることができた。

## 6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、結婚、出産等で離職した女性を対象に、セミナーや就職に役立つ資格取得等の支援を行って、女性の円滑な再就職を支援していく必要がある。また、子育てと仕事の両立を望む女性の希望に応じたきめ細かい就職支援を行っていく必要がある。